

江北エリアの整備方針（案）



江北のまちづくり

～こころもからだも自ずと健康に～



完成イメージ図

まち×デザイン＝未来

エリアデザインとは

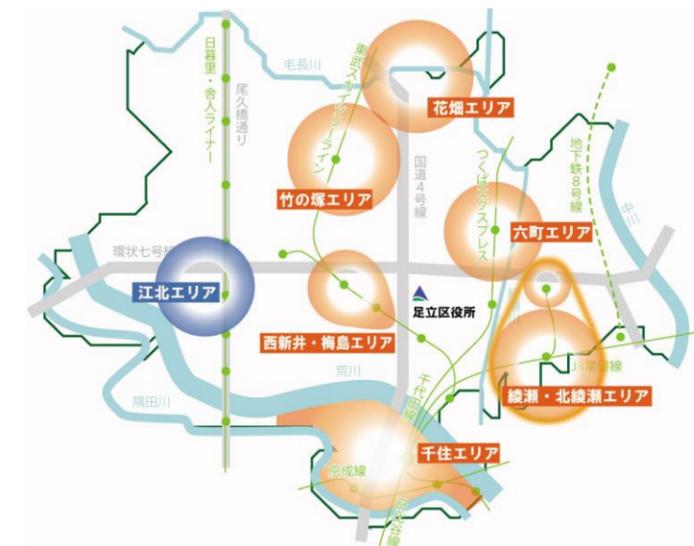
足立区が現在区内7箇所で行っている「エリアデザイン」とは、そのエリアが持つ魅力や目指すべき将来像を内外に発信するとともに、民間による区有地などの活用を図ることで、地域の活性化や区のイメージアップにつなげようという取り組みです。

江北エリアの未来

江北エリアには、区民の悲願であった大学病院の誘致が実現します。この機会をとらえて、エリア内に創出される複数の大規模用地を効果的に活用し、コンセプトにあった施設の整備を進めるとともに、それらを活かした区施策も併せて展開するなど、戦略的にまちづくりを進めていきます。

「江北エリアデザイン計画」の策定にあたっては、区の基本計画や都市計画マスタープラン等を土台としつつ、エリアの特徴を示す統計データを収集するとともに、地域にお住まいの方々に対するアンケート調査を実施しました。両者の内容を比較・分析することで、現在の江北エリアが持つ「強み」と「弱み（課題）」を把握し、まちの将来像＝エリアデザインを描きました。

足立区が推進する7つのエリアデザイン



足立区エリアデザイン推進本部

事務局：足立区政策経営部

エリアデザイン推進室エリアデザイン計画担当課

〒120-8510 東京都足立区中央本町1-17-1南館9階

TEL 03-3880-5111（代表）内線1220 03-3880-5812（直通）

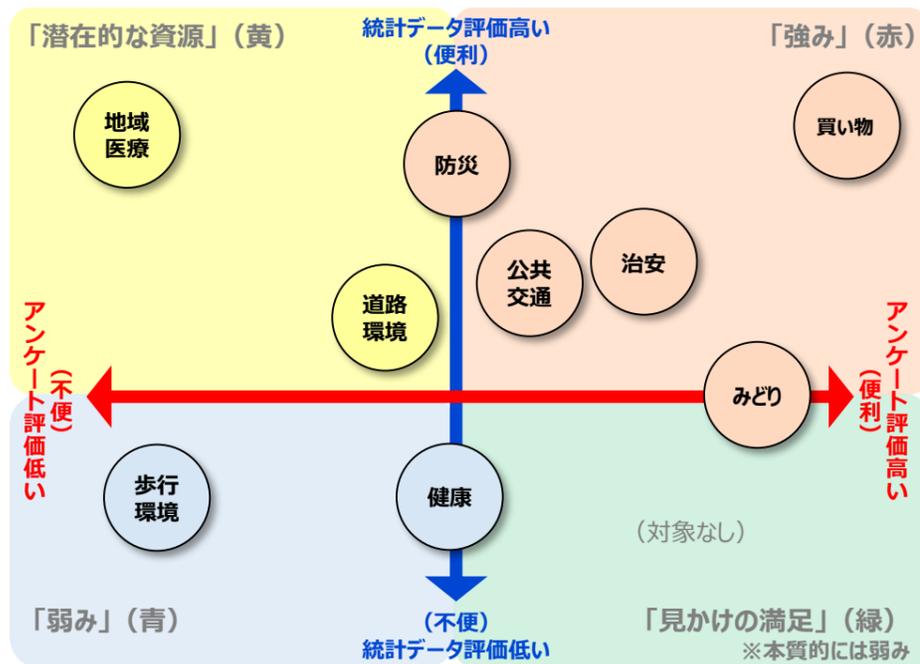
FAX 03-3880-5610

URL <http://www.city.adachi.tokyo.jp/>

東京女子医科大学東医療センターを核としたまちづくり

「健康」をテーマに4つの視点で「住んでいるだけで自ずとところもからだも健康になるまちづくり」を推進します。

江北エリアの強み・弱み

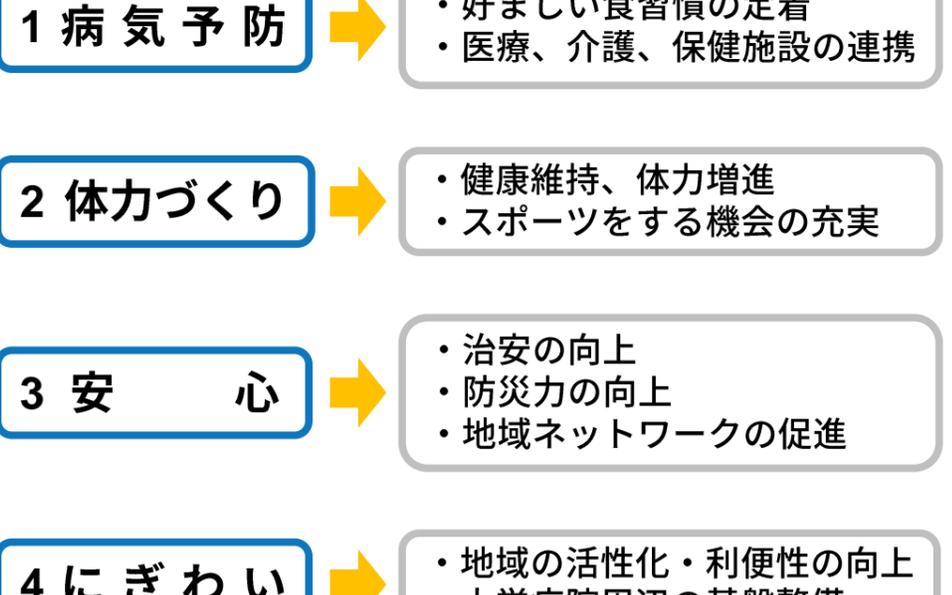


まちづくりに関連する各種項目について、統計データの収集や住民へのアンケート調査を実施し、「強み」(赤)「弱み」(青)「潜在的な資源」(黄)「見かけの満足」(緑)の4つに分類しました。

江北エリアが目指す「健康」の3つの要素



「健康」をテーマにまちづくりを進める4つの視点



1 病気予防



住んでいるだけで
自ずと健康になるまちづくり

病気を重症化させない予防対策や、趣味や地域活動に参加しやすい環境づくりにより、健康寿命の延伸を図ります。こころもからだも健康になるまちづくりを進めていきます。

- Action 1 「野菜を食べよう、野菜から食べよう」の習慣化**
 - 野菜や朝食の摂取など、食生活を改善する事業を強力に展開します。
- Action 2 支えあいや活動の場づくり**
 - サークル活動やボランティア活動など、趣味や地域活動の場を充実させます。
 - 子育て世代や高齢者の支えあいの場づくりで不安のない毎日を過ごせます。
- Action 3 医療・介護の連携施設の整備**
 - 区内の医療・介護事業者の連携を促進する拠点を整備します。
- Action 4 母子保健事業の強化・充実**
 - 江北保健センターを更新し、東京女子医科大学の周産期医療と育児相談を連携し、出産・育児環境強化を検討します。

2 体力づくり



身近なところで
気軽に運動できるまちづくり

歩行ネットワークを整備し、若年から高齢者まで、つい歩きたくなるような環境を整備します。テニスコートや野球場などのスポーツ施設の充実により、身近に体を動かせる環境をさらに充実させます。

- Action 1 つい歩きたくなる環境の整備**
 - 現在の散歩コースである神領堀や江北北部緑道などを新たな緑でつなぎ、ネットワークを広げます。今よりも、楽しく、長く、歩きたくなる環境を提供します。
- Action 2 上沼田東公園改修と高野小学校跡地によるスポーツゾーンの整備**
 - 上沼田東公園のテニスコートと野球場を使いやすく再整備します。
 - 高野小学校跡地にはサッカーなどさまざまなスポーツが楽しめる多目的広場を整備します。
- Action 3 訪れたい公園の整備**
 - 年少層、ファミリー層、高齢者などの利用者ニーズに合わせた公園を整備します。
 - 人が集い、交流できる機能やにぎわい施設等を整備します。

3 安心

安全・安心なまちづくり

治安が良いのが江北エリアの強み。この強みをさらに磨くため、特に日暮里・舎人ライナー東側の刑法犯認知件数を減らし、エリア全体の体感治安向上を目指します。

創出用地、統合小学校などの新施設には、災害時対応機能を整備するとともに、既存の江北給水所や公園を活用することで、いざというときの不安を緩和できるようまちづくりを進めます。

- Action 1 防犯力強化による安心の提供**
 - 東ブロックを中心に防犯カメラなど防犯機能の充実、見回り強化、夜間の道路の明るさ確保などにより、犯罪抑止力を高めます。
- Action 2 災害時避難所機能向上**
 - 統合小学校の新築や、豊富な応急給水量をもつ江北給水所との連携により、避難所機能を向上させます。
- Action 3 防災機能を持った公園へ整備**
 - 日ごろから防災設備に触れる機会を設けることで、住民の災害対応力の向上を図ります。
- Action 4 東京女子医科大学東医療センター**
 - 救急医療の確保、災害時医療の拠点、周産期機能の充実などにより安心が広がります。
 - 病院周辺では、道路拡幅により、交通の安全を高めるとともに無電柱化も検討していきます。

4 にぎわい



にぎわいづくり

日暮里・舎人ライナー沿線に日常生活における買い物や飲食などに適した商業施設等を誘導して、まちのにぎわいにつなげます。

大学病院の移転に伴い、周辺の交通環境整備やバス交通の誘導を着実に進めるとともに、中・長期的には、主要な生活道路の環境整備を進めます。

- Action 1 用途地域の見直しを図り地域の活性化・利便性を向上**
 - 日暮里・舎人ライナー沿線のにぎわいとなる商業施設等を誘導するため、必要な用途地域の見直しを図ります。
- Action 2 大学病院移転に伴うバス交通の誘導**
 - 交通需要増に対し、バス回転広場を整備してバス交通の誘導を図ることで、利便性を高めます。
- Action 3 公園との連携でにぎわい創出**
 - 駅近くの立地を活かし、隣接公園との相乗効果を期待できる機能を検討します。
- Action 4 補助138号線の早期開通**
 - 補助138号線を早期整備し、エリア内東西の移動を容易にします。

※イラストはイメージです。